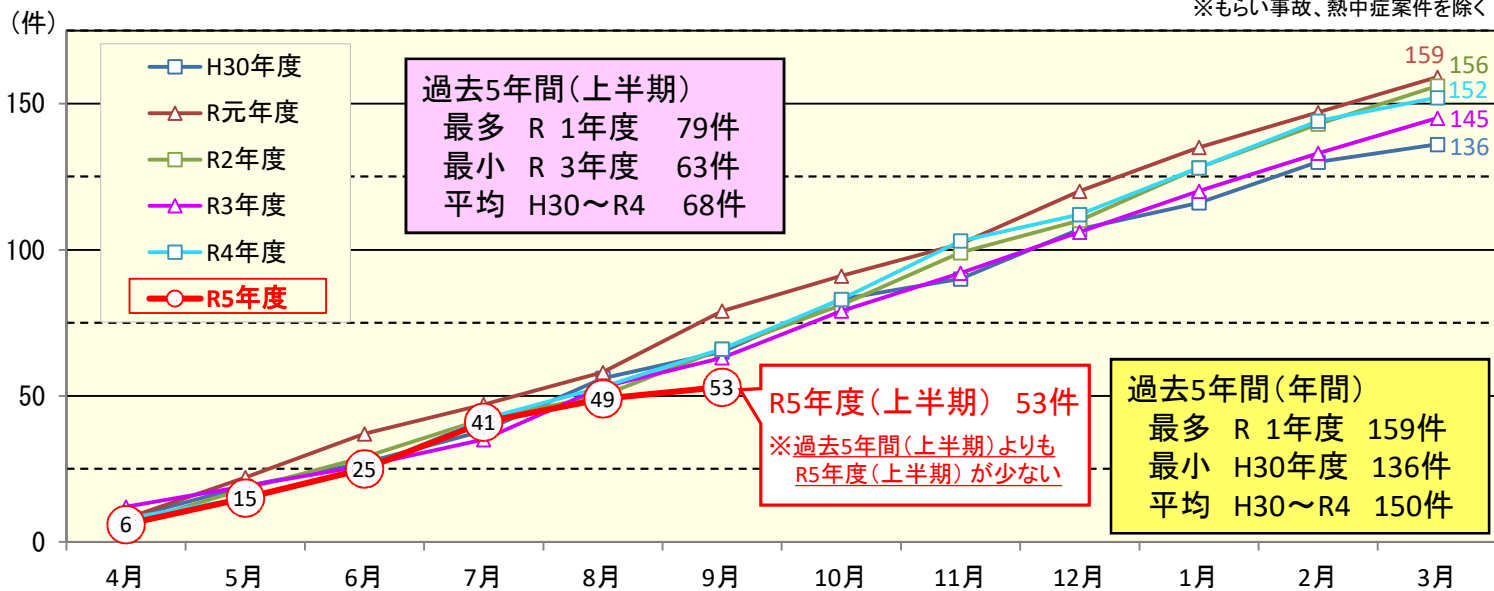
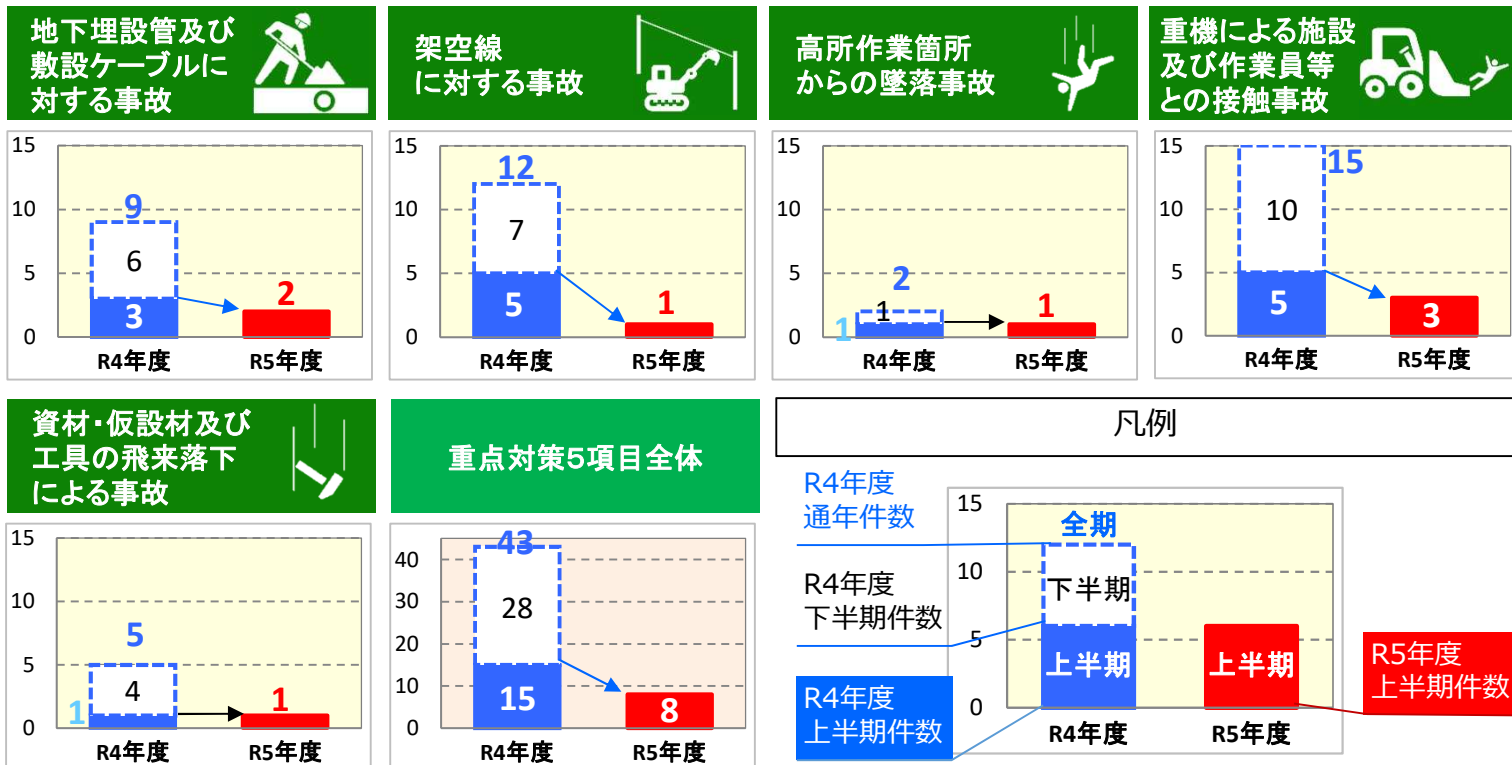


## 上半期の事故発生状況（速報値）

### 近年の年度別工事等事故発生件数(累計)（R5.9月末時点 速報値）



### 令和5年度工事等事故防止重点対策5項目の発生件数(速報値)



令和5年度上半期（4月～9月）に近畿地方整備局管内の直轄工事等で発生した重点対策5項目の事故は、多くの項目で昨年度よりも少なくなりましたが、例年、**繁忙期を迎える下半期には上半期より多くの事故が発生**する傾向がありますので、**気を緩めることなく引き続き事故防止に努め、過去最少の事故件数を目指しましょう。**

**基本の動作や現場のルール、作業手順を今一度確認して  
引き続き事故防止に努めましょう！**

# 確実な確認で架空線事故の防止を！

～合図・誘導を周知徹底して作業しましょう～

例年、下半期も多くの架空線事故が発生しています。架空線事故は防げる事故です。監視員の合図やブームの状態などをしっかり確認し、事故を防ぎましょう。

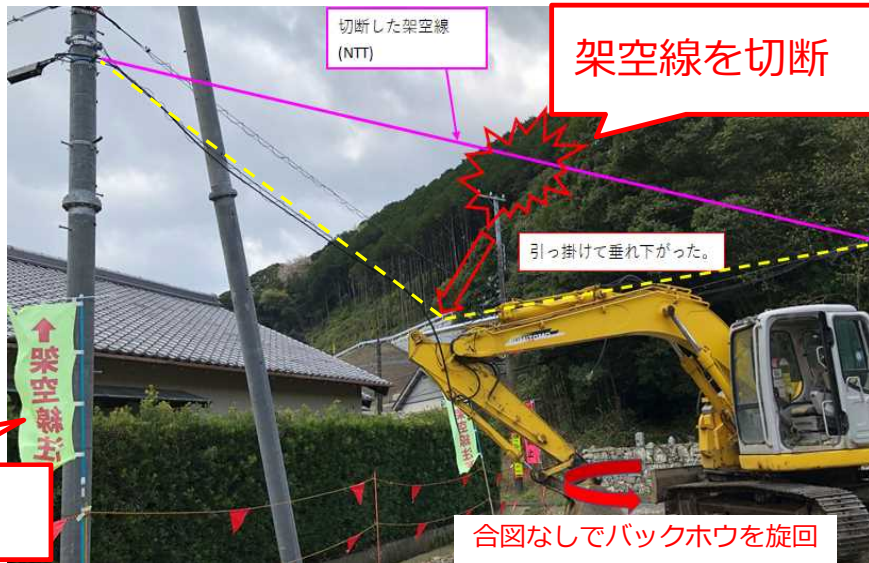
## 事故事例 監視員の合図を確認せずに操作し、事故発生

### 【事故概要】

後片付け時、キャタピラーを清掃するためにバックホウを旋回した際、アームが架空線に接触し、切断。

### 【主な要因】

- ①監視員が合図を出していないにもかかわらず、バックホウのオペレーターが旋回させた。
- ②高さ制限装置（赤旗）や防護カバーによる安全対策を実施していなかった。



## 架空線に近接して作業する時は安全対策をしっかりと講じましょう

防護カバーを設置する

のぼり旗などで危険箇所を明示する

監視員を配置する

赤旗で架空線を明示する

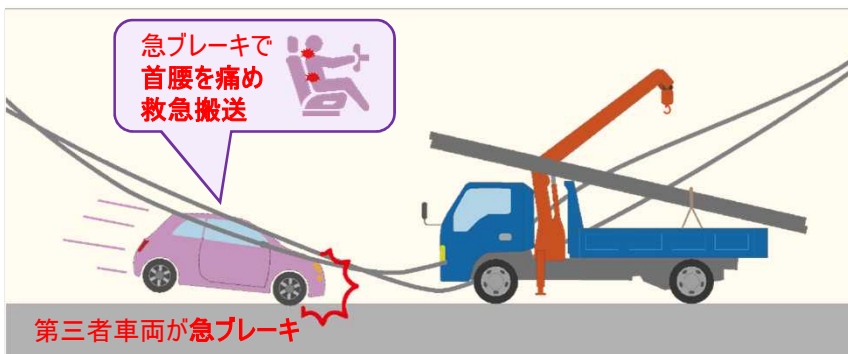
オペレーターは監視員の合図を確認して操作する

## 事故事例 ブームを格納せずに走行し、事故発生

【事故概要】 移動式クレーン車で資材を運搬中、ブームを格納せずに走行し、架空線に接触、切断。また、事故直後、垂れ下がった架空線に気付いた対向車線の第三者車両が、急ブレーキで停車。運転者の首・腰に痛みがあったため病院に救急搬送。

- 【主な要因】
- ①架空線に対する安全教育が不十分であった。
  - ②ブーム格納の確認を怠った。

架空線を切断



## クレーン車やバックホウを移動させる時は、アーム・ブームが格納されていることを確実に確認しましょう



格納ヨシッ！



ダンプアップしたまま走行して架空線に接触する事故も発生しています。ダンプトラックの走行前には荷台が降りていることを確認しましょう！